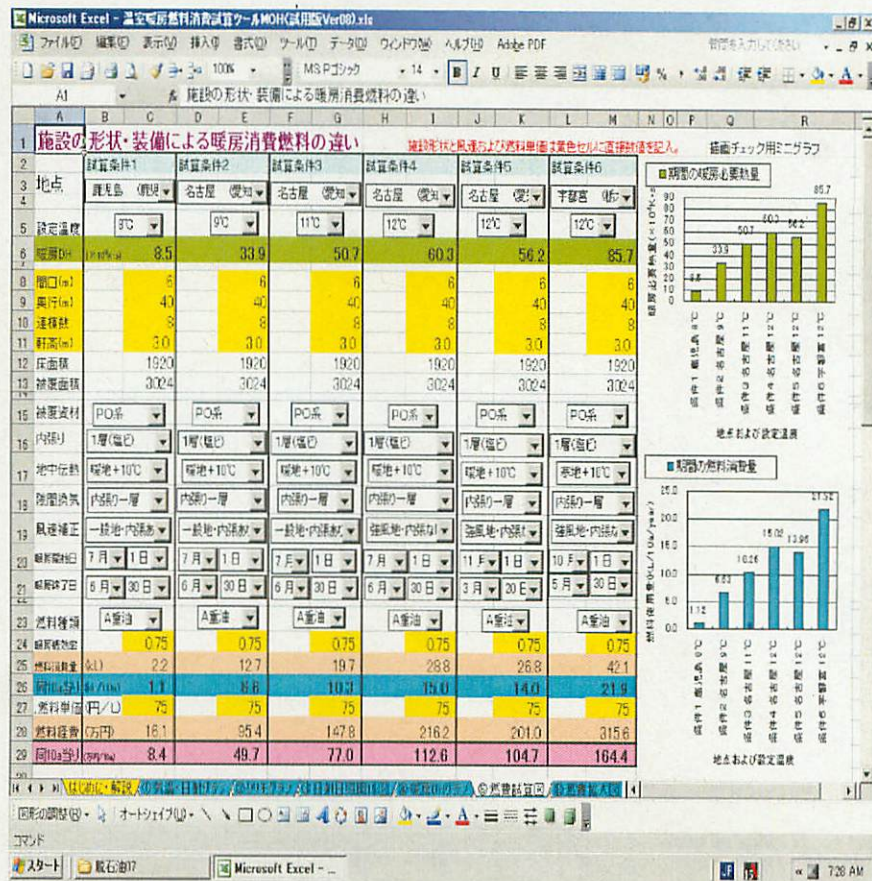


各種温室の暖房燃料消費量の試算ツール

施設園芸において、省エネ化のための施設・装備や管理温度について検討する場合、温室規模や軒高、被覆資材による違い、期間ごとの設定温度を変化させた場合の暖房燃料消費量節減効果を簡単に試算できるツールがあると便利です。(独)農研機構野菜茶業研究所では、日本各地の平年の気象データから、温室の暖房燃料消費量を試算し、簡単にグラフ表示ができる簡易なツールを開発しましたので、その概要について紹介します。

☆ 技術の概要

1. 開発したツールは、温室の大きさや被覆資材、暖房温度・期間等の条件を与えると、対象地域の気象条件に対応した暖房燃料消費量を算出してグラフ表示するもので、設定条件による燃料消費量の違いがわかり、施設規模、資材選択および温度管理手法など燃料消費節減方策の検討に有効です。
2. 対象地点と暖房期間および暖房温度から暖房必要熱量を算出し、温室の床面積・軒高、被覆資材などの諸条件から算出した保温特性値を用いて、燃料消費量を試算しています。
3. 同時に扱える条件数は6組で、必要な数値を選択あるいは入力すると、即時に燃料消費量を表示してグラフにより比較できます。



☆ 活用面での留意点

1. 本ツールで試算できる対象地点は、気象官署約 50 ヶ所、気温・日照時間データが利用できる AMeDAS 観測所約 280 ヶ所です。
2. 本ツールの気象官署データ版を野菜茶業研究所の以下のホームページで公開しています。
<http://vegetea.naro.affrc.go.jp/joho/index.html>
3. 詳しいことは、野菜茶業研究所高収益施設野菜研究チーム（電話 0569-72-1596）へお問い合わせください。
(農林公庫 技術参与 袴田勝弘)